

大雨(集中豪雨や線状降水帯)による浸水被害

近年、地球温暖化の影響で夏季の海水温の上昇等により梅雨前線の活動の活発化や線状降水帯の発生が起りやすくなってきています。大雨による自宅の浸水被害等、災害発生に備えることが重要です。

豪雨の危険性を知っておきましょう

● 短時間で危険な水位のおそれ

河川、用水路などは、激しい雨が降ることやまわりから雨が流れ込むことで、短時間で危険な状態となる。



● 排水路・側溝の排水能力を超える大雨

排水路・側溝の排水能力を超える豪雨によって、土地・建物などの浸水が発生する現象(内水氾濫)が頻発している。



● 離れた場所の雨にも注意

自分のいる場所で強い雨が降っていなくても、上流で降った雨が流れてきて、危険な状態になる場合がある。



● 浸水キキクル(大雨警報(浸水害)の危険度分布)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund/zoom:13/lat:33.841905/lon:130.623402/colordepth:normal>



大雨警報(浸水害)の危険度分布は、大雨警報(浸水害)を補足する情報です。

短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりの予測を示しており、大雨警報(浸水害)等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。

| 色が持つ意味 | 住民等の行動の例* | 想定される周囲の状況例 |
|--|--|--|
| 災害切迫 大雨特別警報(浸水害)の指標に用いる基準に実況で到達 | (立ち退き避難がかえって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保! 【警戒レベル5相当】 | 重大な浸水害が切迫。 浸水害がすでに発生している可能性が高い状況。 |
| ~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~ | | |
| 危険 1時間先までに警報基準を大きく超過した基準に到達すると予想 | 周囲の状況を確認し、 各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動する。 | 道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所がわからなくなるおそれがある。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。 |
| 警戒 1時間先までに警報基準に到達すると予想 | 安全確保行動をとる準備が整い次第、早めの行動をとる。 高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。 | 側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。 |
| 注意 1時間先までに注意基準に到達すると予想 | 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。 ただし、各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかないようにする。 | 周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が、床下まで水に浸かるおそれがある。 |
| 今後の情報等に留意 | 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。 | 普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。 |

* 浸水キキクルに関わらず、自治体から避難情報が発令された場合や下水道管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとること。